

浦安市の公共施設における カラオケ活動の実施に伴う新型コロナ ウイルス感染防止マニュアル

このマニュアルは、市の公共施設でのカラオケ活動にあたり、新型コロナウイルス感染防止のため必要な項目をまとめたものです。

利用者の皆さまには、このマニュアルをご活用いただき感染防止を徹底していただくようお願いします。

※ 今後の市内・近隣市などの感染状況や国・千葉県の対処方針の変更などにより、必要に応じて適宜見直しを行います。

令和4年4月26日

浦安市

1. まずはご自身の体調管理に気を配る

コロナ禍にあって、健康な日常生活を送るためには、お一人おひとりの体調管理が重要です。そのためにご自身で健康管理を行っていただく事項は以下のとおりです。

- 施設を利用する前に体温を測り、体調の管理を徹底する。
- 発熱（37.5度以上）、せき、くしゃみ、鼻水、呼吸困難、嗅覚・味覚異常などの体調不良がある場合は、利用を控え、医師の診断を受診する。
- 同居家族に体調不良の方がいた場合、利用を控える。

2. 基本的な感染対策を徹底する

利用にあたっては、利用者同士が新型コロナウイルス感染症に「かからない」「うつさない」ことが重要です。感染を拡げないための基本的な感染対策は以下のとおりです。

- こまめに手洗い・手指の消毒
- マスクの着用
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」（密集、密接、密閉）の回避
- 利用者の手の触れる箇所については、アルコール等により消毒を行う。
- 濃厚接触者の特定などに使用する場合があるため、日々の利用者名簿（氏名、連絡先等）の記入、保管管理を徹底する。

3. カラオケ活動時の注意事項

カラオケは、飛沫による感染のリスクが高いと言われていることから、より細心の感染対策を実施する必要があります。そのための注意事項（ルール）は以下のとおりです。

- 歌い手、聴き手とも常に正しくマスクの着用を徹底する。
(不織布マスク推奨)
- 歌い手、聴き手との距離を十分にとり、対面を避ける。
- 対面で歌う場合は、歌い手と聴き手との間をアクリル板やビニールシート等で仕切り、飛沫感染の防止を図る。
- 聴き手は会話を控え、マスクを着用している場合であっても大声を出さない。
- 窓を2か所以上開けておくか、30分に1回以上、数分間程度、換気を行う。
- 利用者同士の間隔をできる限り2メートル以上空ける。
- 2人以上で同時に歌唱する場合も同様に、2メートル以上の間隔を開ける。
- 対面を避け、横並びで座るよう椅子を配置する。
※アクリル板等により飛沫感染防止対策を講じていない場合。
- 水分補給などでマスクを外す際には、咳エチケットを徹底する。
- マイク、リモコン、カラオケ機器等の備品は、1人使用ごとにアルコール等により消毒を行う。

4. 感染者、濃厚接触者が発生した場合の対応

感染対策を十分に施しても感染するリスクがなくなるわけではありません。もし、利用者やそのご家族が感染、または濃厚接触者となった場合の対応は以下のとおりです。

- 利用者に、感染者や濃厚接触者が確認された場合には、速やかに施設管理者（施設担当課）へ連絡し、その後の活動は中止する。
- 老人クラブ会館と自治会集会所においては、消毒作業が終了するまでは閉館とし、公民館等については、施設管理者の指示に従うこととする。